

国際原子力機関（IAEA）による経済産業省・東京電力に対する ALPS 処理水の安全性に関するレビュー（2回目）が行われています

福島第一原子力発電所の ALPS 処理水の取扱いに関し、IAEA 職員及び国際専門家^{※1}で構成される調査団が来日し、11月14日から18日にかけて、ALPS 処理水の安全性について、国際安全基準に基づくレビューを行っています。

今回のレビューは、2022年2月に行われた第1回レビュー^{※2}に続く2回目となります。

※1 グスタボ・カルソ原子力安全・核セキュリティ局調整官を含む IAEA 職員、および米国、英国、仏国、中国、韓国、ロシア、ベトナム、アルゼンチン、マーシャル諸島の国際専門家

※2 第1回のレビュー概要は[こちら](#)

11月14日、15日は、同調査団に対し、当社の担当者から、核種の選定の考え方等を含む実施計画の変更認可申請や放射線環境影響評価の内容について説明し、議論を行いました。

また、11月16日は、福島第一原子力発電所において、K4 タンクエリア（ALPS 処理水の測定・確認用設備の設置予定箇所）や放水立坑周辺など ALPS 処理水関連設備の建設の進捗状況を確認いただきました。

11月18日には、今回のレビューミッションに関し、IAEA からプレスブリーフィングが行われる予定です。

当社は引き続き、IAEA の国際安全基準に照らしたレビューを受け、安全確保に万全を期すと共に、その科学的根拠に基づく本レビューの内容を、国内外の皆さまに広く発信してまいります。

【参考】

○2022年10月19日には、IAEA 関係者が、福島第一原子力発電所を訪れ、ALPS 処理水の試料採取に立ち会いました（試料採取への立会は、今年2月及び3月の訪日に続く3度目）。今後、当社が行う分析を検証するため、IAEA の研究所および第三国の研究所で、同試料の分析が行われる予定です（[詳しくはこちら](#)）。

○2022年11月、IAEA 海洋環境研究所の専門家及びフィンランド及び韓国の分析機関の専門家が来日し、7日から10日にかけて、国内分析機関や当社と共同で福島第一原子力発電所周辺の海水などの試料採取を行いました。（[詳しくはこちら](#)）

【2022年11月14日のオープニングセッションおよび11月16日視察の様子】

日程：2022年11月14日，16日



オープニングセッションの様子



グスタボ・カルーソ原子力安全・
核セキュリティ局調整官



オープニングセッションにて説明を行う
当社担当者



福島第一原子力発電所にご到着した
IAEA 調査団



K4 タンクエリア周辺をご視察の様子



増設 ALPS をご視察の様子

<参考 URL>

経済産業省プレスリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2022/09/20220909005/20220909005.html>

IAEA プレスリリース

<https://www.iaea.org/newscenter/mediaadvisories/iaea-task-force-to-review-tepcometi-plans-for-discharge-of-treated-water-from-fukushima-daiichi>